

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

# GRI スタンダード対照表

本 CSR レポートは GRI スタンダードを参照しています。  
 本レポート以外で開示事項を掲載しているツールを案内しています。

- コーポレートレポート (統合報告書)  
 URL <http://www.zeon.co.jp/csr/report.html>
- IR 資料  
 URL <http://www.zeon.co.jp/ir/library/index.html>
- コーポレート・ガバナンス報告書  
 URL <http://www.zeon.co.jp/content/200324423.pdf>

GRI スタンダード	開示事項	掲載媒体または項目名およびページ (青字はコーポレートレポートの項目、赤字は CSR レポートの項目)
GRI 101: 基礎 2016	一般開示事項	
GRI 102: 一般開示事項 2016	組織のプロフィール	
102-1	組織の名称	会社概要 (11)
102-2	活動、ブランド、製品、サービス	事業の全体像 (15)
102-3	本社の所在地	会社概要 (11)
102-4	事業所の所在地	事業の全体像 (15)
102-5	所有形態および法人格	会社概要 (11)
102-6	参入市場	会社概要 (11)
102-7	組織の規模	会社概要 (11)
102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	会社概要 (11)、労働慣行 (43)、雇用と多様性 (43)
102-9	サプライチェーン	—
102-10	組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	—
102-11	予防原則または予防的アプローチ	—
102-12	外部イニシアティブ	国連グローバルコンパクトへの署名 (59)、化学品の安全情報 (33)
102-13	団体の会員資格	—
戦略		
102-14	上級意思決定者の声明	トップインタビュー (24)
102-15	重要なインパクト、リスク、機会	CSR 推進計画 (39)、CSR 推進計画 (12-16)
倫理と誠実性		
102-16	価値観、理念、行動基準・規範	企業理念 (2)、ゼオンの CSR (38)、CSR 基本方針 (8)
102-17	倫理に関する助言および懸念のための制度	リスクマネジメント (34)
ガバナンス		
102-18	ガバナンス構造	コーポレートガバナンス (33)、コーポレートガバナンス (18)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-19	権限移譲	—
102-20	経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任	ゼオンの CSR (38)
102-21	経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議	コーポレートガバナンス (33)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-22	最高ガバナンス機関およびその委員会の構成	コーポレートガバナンス (34)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-23	最高ガバナンス機関の議長	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	コーポレートガバナンス (33)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-25	利益相反	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-26	目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-27	最高ガバナンス機関の集合的知見	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-28	最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-29	経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメント	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-30	リスクマネジメント・プロセスの有効性	コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	コーポレートガバナンス (34)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-32	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	—
102-33	重大な懸念事項の伝達	—
102-34	伝達された重大な懸念事項の性質と総数	—
102-35	報酬方針	コーポレートガバナンス (34)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-36	報酬の決定プロセス	コーポレートガバナンス (34)、コーポレートレポート・ガバナンス報告書
102-37	報酬に関するステークホルダーの関与	—
102-38	年間報酬総額の比率	—
102-39	年間報酬総額の比率の増加率	—
ステークホルダー・エンゲージメント		
102-40	ステークホルダー・グループのリスト	—
102-41	団体交渉協定	—
102-42	ステークホルダーの特定および選定	—
102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	—
102-44	提起された重要な項目および懸念	—

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRIスタンダード対照表

報告実務		
102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	IR資料
102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	編集方針 (1)
102-47	マテリアルな項目のリスト	CSR推進計画 (12-16)
102-48	情報の再記述	—
102-49	報告における変更	—
102-50	報告期間	編集方針 (3)
102-51	前回発行した報告書の日付	—
102-52	報告サイクル	—
102-53	報告書に関する質問の窓口	編集方針 (3)、裏表紙
102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	—
102-55	GRI内容索引	—
102-56	外部保証	—

GRIスタンダード 開示事項		
<b>GRIスタンダード 200 シリーズ (経済項目)</b>		
<b>経済パフォーマンス</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 201: 経済パフォーマンス 2016		
201-1	創出、分配した直接的経済価値	IR資料、会社概要 (12)
201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	—
201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	—
201-4	政府から受けた資金援助	—
<b>地域経済での存在感</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 202: 地域経済での存在感 2016		
202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率 (男女別)	—
202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	—
<b>間接的な経済的インパクト</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 203: 間接的な経済的インパクト 2016		
203-1	インフラ投資および支援サービス	—
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	—
<b>調達慣行</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	公正な事業慣行 (42)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 204: 調達慣行 2016		
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	—
<b>腐敗防止</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	公正な事業慣行 (42)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 205: 腐敗防止 2016		
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	—
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	—
205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	—
<b>反競争的行為</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	公正な事業慣行 (42)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 206: 反競争的行為 2016		
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	—
<b>税務</b>		
GRI 207: 税務 2019		
207-1	税へのアプローチ	—
207-2	税務ガバナンス、管理、およびリスク管理	—
207-3	ステークホルダーの関与と税に関する懸念の管理	—
207-4	国別の報告	—

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

GRI スタンダード 開示事項		
GRI スタンダード 300 シリーズ (環境項目)		
原材料		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	環境理念・安全理念 (21)
103-2	マネジメント手法とその要素	環境安全マネジメント (23)
103-3	マネジメント手法の評価	環境安全マネジメント (23)、目標と実績 (27)
GRI 301: 原材料 2016		
301-1	使用原材料の重量または体積	—
301-2	使用したリサイクル材料	—
301-3	再生利用された製品と梱包材	環境負荷の全体像 (26)
エネルギー		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	環境理念・安全理念 (21)
103-2	マネジメント手法とその要素	環境安全マネジメント (23)
103-3	マネジメント手法の評価	環境安全マネジメント (23)、目標と実績 (27)
GRI 302: エネルギー 2016		
302-1	組織内のエネルギー消費量	環境負荷の全体像 (26)、温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
302-2	組織外のエネルギー消費量	—
302-3	エネルギー原単位	温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
302-4	エネルギー消費量の削減	温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	—
水と廃水		
GRI 303: 水と廃水 2018		
303-1	共有資源としての水との相互作用	—
303-2	排水に関するインパクトのマネジメント	—
303-3	取水	—
303-4	排水に関するインパクトのマネジメント	—
303-5	水消費	温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
生物多様性		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 304: 生物多様性 2016		
304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	—
304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	—
304-3	生息地の保護・復元	—
304-4	事業の影響を受ける地域に生息する IUCN レッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	—
大気への排出		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	環境理念・安全理念 (21)
103-2	マネジメント手法とその要素	環境安全マネジメント (23)
103-3	マネジメント手法の評価	環境安全マネジメント (23)、目標と実績 (27)
GRI 305: 大気への排出 2016		
305-1	直接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 1)	環境 (41)、温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
305-2	間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 2)	—
305-3	その他の間接的な温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 3)	—
305-4	温室効果ガス (GHG) 排出原単位	環境 (41)、温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
305-5	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	温室効果ガス排出量削減・省エネルギー (29)
305-6	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量	—
305-7	窒素酸化物 (NOx)、硫黄酸化物 (SOx)、およびその他の重大な大気排出物	化学物質管理 (30)、大気・水・廃棄物 (32)
廃棄物		
GRI 306: 廃棄物 2020		
306-1	廃棄物の発生と著しい廃棄物関連の影響	環境理念・安全理念 (21)
306-2	廃棄物に関連する重大な影響の管理	環境安全マネジメント (23)
306-3	廃棄物発生量	環境負荷の全体像 (26)、化学物質管理 (30)
306-4	転用された廃棄物	環境負荷の全体像 (26)、化学物質管理 (30)
306-5	処分された廃棄物	大気・水・廃棄物 (33)、環境負荷の全体像 (26)、化学物質管理 (30)
環境コンプライアンス		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 307: 環境コンプライアンス 2016		
307-1	環境法規制の違反	—
サプライヤーの環境面のアセスメント		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 308: サプライヤーの環境面のアセスメント		
308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	—
308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	—

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

GRI スタンダード 開示事項		
GRI スタンダード 400 シリーズ (社会項目)		
雇用		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	雇用と多様性 (37)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 401: 雇用 2016		
401-1	従業員の新規雇用と離職	雇用と多様性 (37)
401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	—
401-3	育児休暇	健康に配慮した職場環境づくり (44, 45)
労使関係		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	健康に配慮した職場環境づくり (45, 46)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 402: 労使関係 2016		
402-1	組織内のエネルギー消費量	—
労働安全衛生		
GRI 403: 労働安全衛生 2018		
403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	労働慣行 (44)、環境安全教育 (24-25)、労働安全 (47)、保安防災 (48-49)
403-2	危険性 (ハザード) の特定、リスク評価、事故調査	労働慣行 (44)、環境安全教育 (24-25)、労働安全 (47)、保安防災 (48-49)
403-3	労働衛生サービス	労働慣行 (44)、環境安全教育 (24-25)、労働安全 (47)、保安防災 (48-49)
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	労働慣行 (44)、環境安全教育 (24-25)、労働安全 (47)、保安防災 (48-49)
403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	労働慣行 (44)、環境安全教育 (24-25)、労働安全 (47)、保安防災 (48-49)
403-6	労働者の健康管理	労働慣行 (44)、環境安全教育 (24-25)、労働安全 (47)、保安防災 (48-49)
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	労働慣行 (44)
403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	—
403-9	労働関連の傷害	労働安全 (47)
403-10	労働関連の疾病・体調不良	—
研修と教育		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	人材の育成 (39-41)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 404: 研修と教育 2016		
404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	—
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	人材の育成 (39, 40)
404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	—
ダイバーシティと機会均等		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	労働慣行 (43)、雇用と多様性 (37)、人事制度 (42)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 405: ダイバーシティと機会均等 2016		
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	—
405-2	基本給と報酬総額の男女比	—
非差別		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	人権 (42)、人権 (58-59)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 406: 非差別 2016		
406-1	差別事例と実施した救済措置	—
結社の自由と団体交渉		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	健康に配慮した職場環境づくり (45)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016		
407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	—
児童労働		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	人権 (42)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 408: 児童労働 2016		
408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—
強制労働		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	人権 (42)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 409: 強制労働 2016		
409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	—

目次	ハイライト	ゼオンのCSR	組織統治	環境	労働慣行
公正な事業慣行	消費者課題	人権	コミュニティ	データ集	GRI スタンダード対照表

<b>保安慣行</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 410: 保安慣行 2016		
410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—
<b>先住民族の権利</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 411: 先住民族の権利 2016		
411-1	先住民族の権利を侵害した事例	—
<b>人権アセスメント</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	人権 (42)、人権 (58-59)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 412: 人権アセスメント 2016		
412-1	人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	—
412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	人権 (58)
412-3	人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	—
<b>地域コミュニティ</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	コミュニティ (45)、コミュニティ (60)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 413: 地域コミュニティ 2016		
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	—
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト (顕在的、潜在的) を及ぼす事業所	—
<b>サプライヤーの社会面のアセスメント</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	公正な事業慣行 (42)、サプライチェーンにおける人権の尊重 (59)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント 2016		
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	—
414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	—
<b>公共政策</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 415: 公共政策 2016		
415-1	政治献金	—
<b>顧客の安全衛生</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	化学品の安全情報 (33)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 416: 顧客の安全衛生 2016		
416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	品質保証 (55-57)
416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	—
<b>マーケティングとラベリング</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	化学品の安全情報 (33)、公平・適切な情報発信 (53)
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 417: マーケティングとラベリング 2016		
417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	化学品の安全情報 (33)
417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	—
417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	—
<b>顧客プライバシー</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	—
103-3	マネジメント手法の評価	—
GRI 418: 顧客プライバシー 2016		
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	—
<b>社会経済面のコンプライアンス</b>		
GRI 103: マネジメント手法 2016		
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	—
103-2	マネジメント手法とその要素	コンプライアンス (51)
103-3	マネジメント手法の評価	コンプライアンス (51)
GRI 419: 社会経済面のコンプライアンス 2016		
419-1	社会経済分野の法規制違反	—